

**Q：生物教材の成長が授業進度と合いません。また，生物教材は観察ばかりで飽きてしまいます。興味をもたせるにはどうしたらよいですか。
【3，4年】**

A：生物の成長に合わせて授業を調整し，観察ポイントを明確に示しましょう。

○生物の成長に合わせて授業を調整する

相手は生き物ですから，こちらの都合のいいように育ってはくれません。なかなか花が咲かなかったりすることもあるでしょう。植物の成長にあわせて授業を調整していくしかありません。他の単元の学習と平行して学習を進めながら，状況が整ったところで，観察の授業を行うということも考えなければなりません。その場合，ノートの使い方を心配する先生もいらっしゃいますが，例えば，観察用のファイルを別に作るなど工夫してみてください。

○観察のポイントを明確にする

植物の成長を観察する際，毎日観察して記録をとることに意味はありますが，変化がないものを何度も観察していると，飽きてしまう子どももでてきます。また，闇雲に「さあ，観察しなさい」と言われても子どもたちは何をどう観察して良いか分からず，目的のない観察になってしまいます。授業の中で話し合い活動などを通して観察のポイントを明確にしたり（話し合いの過程で適度に助言を与え，本来の観察のポイントがおさえられるようにしましょう），先生の方で植物をよく観察しておき，何らかの変化がありそうなとき（「土が盛り上がってきてそろそろ出芽しそうだ」など）に観察の指示をだすなどし，観察のポイントをはっきりさせることが有効です。

先生方が事前に植物の変化をとらえ，植物の成長に合わせて，何を観察するのか視点をもち臨機応変に観察の授業を持ってくるようにしましょう。そうすれば，観察のポイントも指示でき，子どもの興味も持続させることができます。

アドバイス：

植物と同じように動物の成長も思うようにはいきません。動物の成長の観察をするときも同様に，授業の方を動物の成長に合わせて臨機応変に調整しましょう。また，日頃から校庭や学校周辺の自然に関心をもつようにすることも大切です。